

こんにちは　日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子　です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818

このニュースについてのご意見、
ご要望をお寄せください。

2026年11月１日NO.562

リニア新幹線

ご存じですか？

区道の隆起事故に続き、今度はシールドマシンの損傷で工事ストップ

工事再開の見通し立たず

共産党がいのちの党、生活者ネットとJR東海に申し入れ
工事停止について住民説明会を求める

７月29日からリニア新幹線の工事がストップしている問題で、10月13日に共産党がいのちの党、生活者ネットと一緒にJR東海に「住民説明会を求める申し入れ」に行き、話も聞いてきました。

工事ストップの原因は、シールドマシンのピニオンギア（モーターの動力を大ギアに伝達するギア）１か所とベアリング（大ギアが回転する際の摩擦を低減し、回転を滑らかにする装置）の損傷。ベアリングは、ファイバースコープで確認できた19か所のうち11か所（約６割）に損傷が見つかったとのこと。ベアリングはもっとたくさんあり、今後マシンに開口部を作り、ベアリングを全部取り外して調査・点検をするとのこと。その調査に６カ月以上かかり、その後、どんな形で修理ができるかを検討するため、現時点で工事の再開の見通しは全く立っていないとのことです。



10/13に３党でJR東海に申し入れ


昨年10月西品川で起こした区道隆起事故高さ最大15ｃｍ、長さ10m

JR東海は住民に丁寧な説明こそ

JR東海は、昨年の10月28日に、西品川１丁目で区道の隆起事故を起こしています（左の写真）。「区民の生命と生活を脅かす重大な事故」であるにもかかわらず、今年２月１日と２日に行った一斉型説明会はわずか１時間で打ち切るという不誠実な態度でした。会場は不信と怒りの声で溢れました。

しかもこの説明会は、これだけ重大な事故であるのに中延や旗の台の住民は対象外。お知らせも配られませんでした。

そして、JR東海は４月22日に工事再開を強行。そのわずか３か月後に、今度はシールドマシンの大きな損傷事故を起こし、工事ストップとなったのです。

５年前に工事が開始され、この品川でトラブルを起こしストップしたのは４回目。掘削はわずか７３４㍍です。今回の申し入れでは、全ての地域の直上と沿線住民を対象に、直ちに教室型説明会の開催を求めました。



旗の台のスーパーオオゼキ前で宣伝

樫田秀樹さんを迎えての「リニア新幹線の中止を求める区民の会」主催の学習会



説明会を求める請願（１２７９人が署名）に自民、公明、参政、維新、都ファなどが反対して不採択に

６月の区議会に、一斉型説明会を求める請願が出されました。しかし、自民・公明・参政・維新、都ファなどが「オープンハウス型説明でいい」などと言って反対、不採択としました。

この請願は１２７９人もの署名が集められ、その中には、中延・旗の台のリニア新幹線のルートにあたる多くの町会長の署名も含まれていました。

リニア中央新幹線は今

最高時速５０５㎞。品川・名古屋間２８６㎞（86％が地下トンネル）を最速40分で先行開業し、その後大阪まで延伸して全線を最速67分で結ぶ計画。大深度地下法によって品川区内４．６㎞を地下40㍍以深に直径14㍍のトンネルをシールドマシンで掘削。品川駅始発。

▼しかし、どこでもトラブル続きで大幅に遅れ、いつ開業できるか全く見通しが立たない状況。

▼さらに建設コストも名古屋まで計画時の５．５兆円がすでに11兆円に達すると公表。

▼大深度地下法は、２０００年に成立。直上の地権者の同意も補償も不要とし、国土交通大臣の認可だけで、事業者が地下40㍍以深の土地を使用することができる法律。しかし陥没・空洞事故や家屋の損傷、地盤沈下、井戸や川の枯渇などが起こり、「地上に影響しない」とした前提が崩れています。

▼全国各地で、認可取り消しや工事差し止めの裁判が取り組まれています。

無料 法律・生活相談会

11月26日(木)午後5時半～
鈴木ひろ子事務所
中延2-11-7☎3783－8833 ☎5742-6818(控室)

弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。

リニア新幹線ルート図

東中延2丁目～中延3・4丁目～旗の台3・4・5丁目を通り抜ける

2本の点線が直径14メートルのトンネル（5階建てビルが入る大きさ）。両脇40メートルずつ家屋調査の範囲









